



2024年11月13日

No.12

スエTの科学の時間 4回目！

今回は“実験”をしました！テーマは『うがい薬（ヨウ素液）を使ってデンプンを調べる』です。最初に「この液何か知ってる？」と聞かれ、「知らない」と答えていた子どもたちですが、「うがいに使うよ」と説明してもらって「あ〜」と納得でした。スエTがスプーンですくうのを一緒に数え、『うがい液1：水9』の10倍の希釈液を作りました。その後は、「これは何でしょう？」とクイズ形式で次々と出てきた食材をテーブルに並べ、一人ずつバイキングのようにタマゴパックに取りました。醤油さしに入れた希釈液をポトポトと落とすと色が変わる食材があり、「あっ、紫になった」「黒にも見える」「色変わらないのもあるなあ」とじっくりと観察していました。



「ドバッと出るから、少しずつ、力を入れて1〜2滴たらしてね」



みんなで
数を数えて
入れまし
た。

- ・さつまいも
- ・じゃがいも
- ・チーズ
- ・ハム
- ・ごはん
- ・パン
- ・うどん

の7種類で実験しました。

くま組では給食食材の三食食品群を掲示する当番をしています。今回、液をかけて色が変わったのは『力が出る黄色の仲間』で、“でんぶん”が入っている食材で、「難しい言葉だけど小学生になったら習うよ」と、教えてもらいました。



実験の途中で、かいり君が「ごはんとお米は違うの？」と「ジャガイモとフライドポテトやったら？」と質問がありました。実験を通して子どもならではの感性で『不思議』なことを発見してくれたので、追加で実験し、探求しようと思います。

